

北方型住宅普及の取組状況

北方型住宅とは

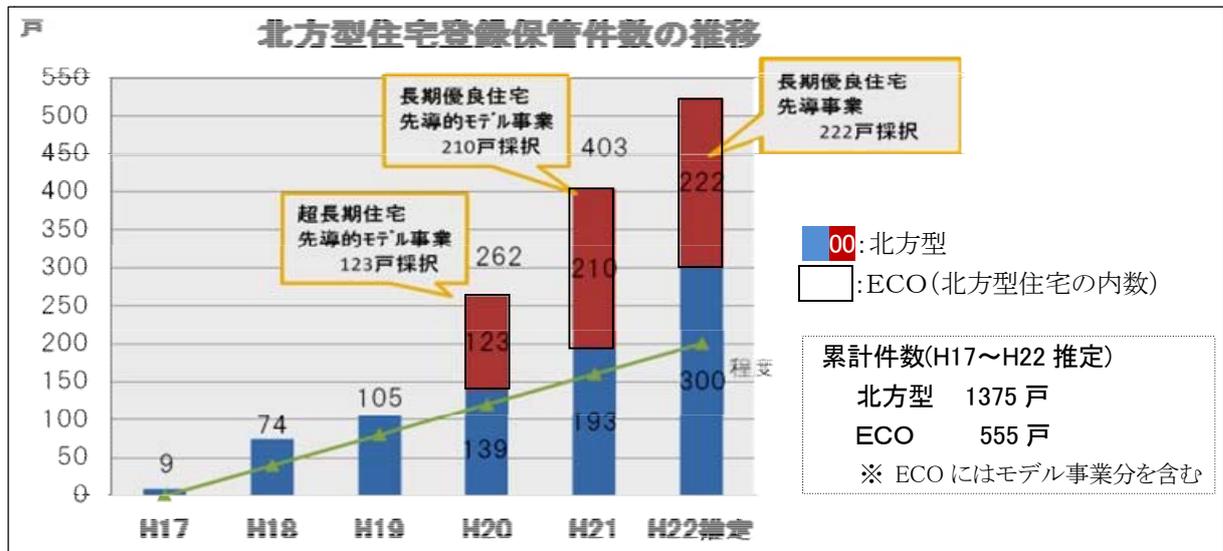
北海道の気候・風土に根ざした、豊かな暮らしの実現を目指し、産学官の協働により展開している北海道の住宅の目標像。

これまでの取組み経過

S63 (1988)	北方型住宅制度の開発・普及 産学官による北海道にふさわしい住まいの開発・普及
H17 (2005)	北方型住宅の新たな展開 「新たな性能基準」、「サポートシステム」、「認定技術者」による3つの安心
H20 (2008)	北方型住宅 ECO モデル事業の実施 国の長期優良住宅先導事業により、省エネ性能を約2割向上させたモデルの展開
H22 (2010)	北方型住宅 ECO 登録制度の創設 モデル事業の成果を踏まえ、技術解説書に北方型住宅 ECO 基準を追加

北方型住宅の普及実績

・全道



・札幌市

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	累計	備考
北方型	3	7	17	62	101	91	281	
ECO	—	—	—	37	58	40	135	北方型の内数

戸数集計は H23 年 1 月 31 日現在。ECO にはモデル事業分を含む。

北方型住宅の今後の展開

H23 (2011)	北方型住宅 ECO の普及の強化 ・H22 年 6 月に創設した「北方型住宅 ECO」の普及を強化し、省エネ住宅の普及や高断熱・高気密住宅の施工技術の向上、地域経済の活性化を行う。 ゼロエミッション住宅の開発に着手 ・ゼロエミッション住宅とは、ライフサイクル CO2 の収支がゼロとなる住宅で、国は H32 年までの標準化を目標にしている。 ・北海道としては、寒冷地技術のトップランナーとして、北海道版ゼロエミッション住宅の研究開発に着手する。
---------------	--